

## IgG4 関連眼疾患の重症度分類の確立

研究分担者 後藤 浩 東京医科大学 主任教授

研究要旨：IgG4 関連疾患にみられる眼病変（IgG4 関連眼疾患）の重症度分類の案を作成した。眼病変は涙腺の腫大のみならず、眼窩病変の部位や程度によっては視力低下、視野障害、眼球運動障害を来す可能性があるため、これらの視機能障害を重視した分類とした。また、ステロイド治療に対する反応性と転帰についても重症度分類に反映させた。

### A. 研究目的

IgG4 関連眼疾患にみられる眼病変は涙腺の腫大がよく知られているが、それ以外にも眼窩神経（三叉神経）の腫大や外眼筋の肥厚、さらに眼窩組織内での腫瘍形成も一定の頻度で存在し、特に眼窩先端部における外眼筋の肥厚や腫瘍の形成は視神経に対する圧迫による視野欠損や視力低下などの視機能障害を来す可能性がある。また、外眼筋の著しい肥厚や眼窩の腫瘍性病変の存在は眼球運動障害を来し、複視の原因となることがある。さらに、シェーグレン症候群ほどではないが涙液の分泌障害によるドライアイ症状を生じる可能性もある。

以上の眼病変に伴う諸症状を勘案し、今後の治療指針作成の基礎とすべく、IgG4 関連眼疾患の重症度分類について議論を重ね、下記のような試案を作成した

### B. 研究方法

本研究班（千葉班）の眼科分科会の構成員と、IgG4 関連眼疾患に関する学術演題が多い日本眼腫瘍学会の有志により、まずはアンケート形式で重症度の分類に関する意見を募った。その後、試案を作成し、数度のブラッシュアップを行った。また、実際に視機能障害を生じた症例をリストアップし、眼科分科会で個々の症例を供覧し

つつ、作成された重症度分類との整合性について確認作業を行った。最終的に眼科分科会全員の合意を得て、3段階の重症度分類を作成した。

（倫理面への配慮）

とくに該当せず。

### C. 研究結果

以下のように IgG4 関連眼疾患を、①重症、②中等症、③軽症の3つに分類した。

#### 重症

(1) 眼球突出、眼球偏位、眼瞼腫脹などの眼症状とともに重篤な視機能障害、すなわち、矯正視力の低下、中心暗点等の視野障害、高度な眼球運動障害がみられ、画像検査で説明可能な所見が確認される場合。

(2) (1)に対して副腎皮質ステロイド（ステロイド）の全身投与による標準的な治療に反応を示すも、減量途中あるいは投与中止後に再発による視機能障害等を繰り返し、長期にわたるステロイド維持療法、もしくはステロイド以外の何らかの治療を必要とする場合。

#### 中等症

(1) 重篤な視機能障害をきたすもステロイド内服により回復し、中止後も再発がみられない場合。

(2) 重篤ではないが視機能障害やドライアイ

イ症状がみられる場合。

#### 軽症

(1)特に治療を必要とするほどの自覚的および他覚的眼症状がない場合。

(2)眼瞼腫脹等の軽度の眼症状に対してステロイド内服による標準的な治療を行ったところ改善し、中止後も再発がみられない場合

#### D. 考察

IgG4 関連眼疾患については、2012 年に本邦から報告された包括診断基準を踏まえつつ、本研究班の眼科分科会によって眼病変の特性を考慮した診断基準を 2015 年に報告した (Goto H, et al.: Jpn J Ophthalmol 59, 2015.)。この IgG4 関連眼疾患の特徴のひとつとして、ステロイドの全身投与に対する反応性が挙げられる。すなわち、ごく一部の例外を除き、発症初期はプレドニゾロン 0.5mg/Kg/日程度の内服治療が奏功し、臨床的改善が得られる。しかし、ステロイドの減量ないしは中止後に再発を繰り返すことが多いのも本疾患の特徴であり、難治性疾患とされる所以でもある。

2015 年に作成された IgG4 関連疾患の、いわば包括的な重症度分類には眼症状に関する記載はないが、生活の質 (QOL) に著しい悪影響をもたらす可能性のある IgG4 関連眼疾患の眼症状については、近い将来、重症度分類に反映されるようになることを期待したい。

#### E. 結論

視力低下、視野障害、眼球運動障害などの視機能障害とともに、ステロイド治療に対する治療効果の評価を加味した IgG4 関連眼疾患の重症度分類を提案した。

#### F. 研究発表

##### 1. 論文発表

1. Goto H, Takahira M, Azumi A, Japanese

Study Group for IgG4-Related Ophthalmic Disease.: Diagnostic criteria for IgG4-related ophthalmic disease. Jpn J Ophthalmol. 59:1-7, 2015.

2. Takahashi H, Usui Y, Ueda S, Yamakawa N, Sato-Otsubo A, Sato Y, Ogawa S, Goto H: Genome-Wide Analysis of Ocular Adnexal Lymphoproliferative Disorders Using High-Resolution Single Nucleotide Polymorphism Array. Invest Ophthalmol Vis Sci. 56:4156-4165, 2015.
3. 後藤 浩: IgG4 関連疾患とミクリッツ病. 日本の眼科 86:598-599, 2015.

##### 2. 学会発表

1. Ueda S, Goto H, Kimura K, Umazume K, Shibata M: A clinicopathological study of IgG4-related ophthalmic disease. The International Society of Ocular Oncology (ISOO) Paris, France. (2015 年 6 月 19 日)
2. Goto H, Ueda S: IgG4-related ophthalmic disease mimicking intraocular tumor: report of one case. The International Society of Ocular Oncology (ISOO), Paris, France. (2015 年 6 月 17 日)
3. 上田俊一郎, 後藤 浩, 木村圭介, 馬詰和比古, 柴田元子: 結膜リンパ増殖性疾患における IgG4 陽性細胞の有無. 第 8 回 IgG4 研究会. 福岡 (2015 年 3 月 21 日)
4. 上田俊一郎, 臼井嘉彦, 木村圭介, 馬詰和比古, 柴田元子, 後藤 浩: IgG4 関連眼疾患の病理組織学的検査. 第 784 回東京眼科集談会. 東京 (2015 年 2 月 5 日)

#### G. 知的財産権の出願・登録状況 (予定を含む。)

1. 特許取得  
なし
2. 実用新案登録  
なし
3. その他  
特になし

厚生労働科学研究費補助金 難治性疾患等政策研究事業  
IgG4 関連疾患の診断基準並びに治療指針の確立を目指した研究  
分担研究報告書

**IgG4 関連呼吸器疾患の診断基準の確立とその普及**

研究分担者 松井祥子 富山大学保健管理センター 教授

研究要旨：呼吸器分科会では、H26 年度に最終的な IgG4 関連呼吸器疾患の診断基準案を提唱し、日本呼吸器学会のシンポジウムにおいて討論の上、日本呼吸器学会雑誌にて公表した。その診断基準の普及を目的として、分科会内で、鑑別疾患をふまえた評価を行う一方で、呼吸器診断基準の普及をめざして、日本呼吸器学会雑誌の英文誌にて公表した。

研究協力者：

山本 洋（信州大学医学部内科学第一講座）

源 誠二郎（大阪府立呼吸器アレルギーセンターアレルギー内科）

三島 理晃（京都大学大学院医学研究科呼吸器内科学）

早稲田優子（金沢大学付属病院呼吸器内科）

共同研究者：

半田 知宏（京都大学大学院医学研究科呼吸器内科学）

久保 恵嗣（長野県立病院機構）

A. 研究目的

「IgG4 関連疾患の診断基準並びに治療指針の確立を目指した研究」班呼吸器分科会において IgG4 関連呼吸器疾患診断基準を H26 年度に作成し、日本呼吸器学会誌に公表した。分科会内では、その検証を行う一方で、本診断基準の普及と検証を広く求めるために、英文にて公表を行う事を目的とした。

B. 研究方法

1) IgG4 関連呼吸器疾患 51 例および血清 IgG4 135mg/dl 以上でかつ胸部異常陰影を有する他疾患 25 例において、IgG4 関連呼吸器疾患診断基準を用いた検討を行った。

2) IgG4 関連呼吸器疾患診断基準を英文雑誌に投稿し、査読を経た後に公表した。

（倫理面への配慮）

後方視調査については、富山大学倫理審

査委員会における承認を得て行われた。

C. 研究結果

1) IgG4 関連呼吸器疾患 51 例を IgG4 関連呼吸器疾患診断基準における基準に照合すると、確定診断 46 例、準確定 2 例、疑診 0 名、否定 3 例となった。また他疾患 25 例は、すべて否定になった。感度・特異度は、各々 90.2%、100% であり、本診断基準は良好な結果であった。しかし、専門家による臨床・病理・画像の検討

（Multidisciplinary Discussion）により、IgG4 関連呼吸器疾患と考えられる呼吸器疾患単独症例は、確定診断ができにくい場合があることから、今後症例を重ねた検討が必要と考えられた。

2) 本診断基準の確立をめざし、前記 1) の結果をふまえた診断基準を英文雑誌 *Respiratory Investigation* に投稿し、受諾された。

D. 考察

IgG4 関連呼吸器疾患診断基準は、まだ公表されたばかりであり、今後の普及と検証が望まれる。

E. 結論

呼吸器分科会において提案し、日本呼吸器学会会員における公開討論の後、改訂した「IgG4 関連呼吸器疾患診断基準」を、日本呼吸器学会英文雑誌（*Respiratory Investigation*）の査読を経て公表した。

F. 研究発表

1. 論文発表

1. Matsui S, Yamamoto H, Minamoto S, Waseda Y, Mishima M, Kubo K. Proposed diagnostic criteria for IgG4-related respiratory disease. *Respir Invest* DOI: <http://dx.doi.org/10.1016/j.resinv.2015.09.002>
2. Khosroshahi A, Wallace ZS, Crowe JL, Akamizu T, Azumi A, Carruthers MN, Chari ST, Della-Torre E, Frulloni L, Goto H, Hart PA, Kamisawa T, Kawa S, Kawano M, Kim MH, Kodama Y, Kubota K, Lerch MM, Löhr M, Masaki Y, Matsui S, Mimori T, Nakamura S, Nakazawa T, Ohara H, Okazaki K, Ryu JH, Saeki T, Schleinitz N, Shimatsu A, Shimosegawa T, Takahashi H, Takahira M, Tanaka A, Topazian M, Umehara H, Webster GJ, Witzig TE, Yamamoto M, Zhang W, Chiba T, Stone JH; Second International Symposium on IgG4-Related Disease. International Consensus Guidance Statement on the Management and Treatment of IgG4-Related Disease. *Arthritis Rheumatol*. 2015;67:1688-99.
3. 松井祥子. IgG4 関連疾患. *日サ会誌*. 2015 ; 35 : 47-49.
4. 久保恵嗣, 松井祥子, 山本 洋. IgG4 関連呼吸器疾患 . *日内会誌*. 2015 ; 104 : 1848-1852.

2. 学会発表

1. Matsui S, Yamamoto H, Handa T, Minamoto S, Waseda Y, Mishima M, Kubo K. Proposal for diagnostic criteria for IgG4-related respiratory disease. *ATS 2015 International Conference*; 2015 May 16-20; Denver.
2. 久保恵嗣, 松井祥子. シンポジウム「IgG4 関連疾患における最近の進歩～IgG4 関連呼吸器疾患」. 第 112 回日本内科学会講演会 ; 2015 Apr 10-12 ; 京都.

3. 正木康史, 松井祥子, 川野充弘, 佐伯敬子, 坪井洋人, 平田信太郎, 宮下賜一郎, 折口智樹, 藤川敬太, IgG4 関連疾患研究グループ. IgG4 関連疾患に対する前方視的多施設共同治療研究. 第 24 回日本シェーグレン症候群学会学術集会 ; 2014 Sep 18-19 ; 東京.

G. 知的財産権の出願・登録状況  
(予定を含む。)

1. 特許取得  
なし
2. 実用新案登録  
なし
3. その他  
なし

## IV. 研究成果の刊行に関する一覽

研究成果の刊行に関する一覧表（書籍）

執筆者氏名	論文題名	書籍全体の編集者名	書籍名	出版社名	出版地	ページ	出版年
Chiba T, Shikawa M, Kodama Y	Future perspective.	Kamisawa T, Chung JB	Autoimmune Pancreatitis	Springer	米国	207-209	2015
Watanabe T, Strober W, Chiba T	Immune mechanisms of pancreatitis.	Mestecky J, Strober W, Russell MW, Kelsall BL, Cheroutre H, Lambrecht BN	Mucosal Immunology	Elsevier	米国	1719-1736	2015
神澤輝実、来間佐和子	IgG4関連疾患の治療総論	岡崎和一、川 茂幸	最新 IgG4関連疾患	診断と治療社	東京	36-38	2015
神澤輝実、千葉和朗	IgG4関連疾患の鑑別。消化器系	岡崎和一、川 茂幸	最新 IgG4関連疾患	診断と治療社	東京	158-161	2015
Shigevuki Kawa, Takayuki Watanabe, and Takashi Muraki.	Serology.	Terumi Kamisawa, Jae Bock Chung	Autoimmune pancreatitis	Springer Korea	Seoul	pp61-68	2015
Masahiro Maruyama, Norikazu Arakura, Shigevuki Kawa.	Developmen to chronic pancreatitis.	Terumi Kamisawa, Jae Bock Chung	Autoimmune pancreatitis	Springer Korea	Seoul	pp164-174	2015
川 茂幸、川野充弘	オーバービュー	川 茂幸、川野充弘	IgG4関連疾患 実践的臨床から病因へ	前田書店	金沢	pp11-14	2015
丸山真弘、新倉則和、川 茂幸	IgG4関連疾患の長期経過（自己免疫性膵炎を例に）	川 茂幸、川野充弘	IgG5関連疾患 実践的臨床から病因へ	前田書店	金沢	pp106-114	2015
川 茂幸	IgG4の特異的な性質:Fab-arm exchange, RF様活性	川 茂幸、川野充弘	IgG6関連疾患 実践的臨床から病因へ	前田書店	金沢	pp132-136	2015
川 茂幸、丸山 真弘、渡邊 貴之、伊藤 哲也、新倉 則和	自己免疫性膵炎の長期予後	竹原徹郎、金井隆典、下瀬川徹、島田光生	Annual Review 2015消化器	中外医学社	東京	pp169-175	2015
川 茂幸	発見の経緯	岡崎和一、川茂幸（監）、神澤輝実、川上 純、川野充弘、全陽、高橋裕樹、中島 衛（編）	最新IgG4関連疾患	診断と治療社	東京	pp13-18	2015
新倉則和、川 茂幸	自己免疫性膵炎-予後-特に慢性膵炎への移行について	岡崎和一、川茂幸（監）、神澤輝実、川上 純、川野充弘、全陽、高橋裕樹、中島 衛（編）	最新IgG5関連疾患	診断と治療社	東京	pp92-95	2015
太田正徳、川 茂幸	自己免疫性膵炎-病因②-免疫遺伝学的背景	岡崎和一、川茂幸（監）、神澤輝実、川上 純、川野充弘、全陽、高橋裕樹、中島 衛（編）	最新IgG6関連疾患	診断と治療社	東京	pp96-101	2015
森山 雅文、中村 誠司	Th2細胞・制御性T細胞とIgG4関連疾患（1）	中村 誠司、住田 孝之	IgG4関連疾患 実践的臨床から病因へ	前田書店	金沢	144-149	2015
森山 雅文、中村 誠司	3. 唾液腺病変	岡崎 和一、川 茂幸	臨床医必読 最新IgG4関連疾患	診断と治療社	東京	52-54	2015
能登原憲司	自己免疫性膵炎 病理	岡崎和一、他	最新 IgG4関連疾患	診断と治療社	東京	83-84	2015
能登原憲司	唾液腺病変 病理	岡崎和一、他	最新 IgG4関連疾患	診断と治療社	東京	54-56	2015
能登原憲司	自己免疫性膵炎	鬼島宏・福嶋敬宜	腫瘍病理鑑別診断アトラス 胆道癌・膵癌	文光堂	東京	188-193	2015

能登原憲司	自己免疫性膵炎 (autoimmune pancreatitis; AIP)	公益社団法人 日本 臨床細胞学会	細胞診ガイドライ ン 5. 消化器	金原出版	東京	291- 292, 311	2015
赤水尚史	Ⅱ 臓器別病変の診断と治療 「4 甲状腺疾患 病態」	岡崎和一、川 茂幸	臨床医必読最新 IgG4関連疾患	診断と治療社	東京	64-66	2015
川茂幸、川野充弘	実践的臨床編 オーバー ビュー	川茂幸、川野充弘	IgG4関連疾患 実 践的臨床から病因 へ -IgG4研究会 モノグラフ	前田書店	金沢	11-14	2015
川野充弘、梅原久範、 岡崎和一	IgG4関連疾患診断の基本	川茂幸、川野充弘	IgG4関連疾患 実 践的臨床から病因 へ -IgG4研究会 モノグラフ	前田書店	金沢	15-24	2015
水島伊知郎、井上大、 佐伯敬子、川野充弘	腎疾患の鑑別	川茂幸、川野充弘	IgG4関連疾患 実 践的臨床から病因 へ -IgG4研究会 モノグラフ	前田書店	金沢	78-88	2015
濱口儒人、川野充弘	皮膚病変の鑑別疾患	川茂幸、川野充弘	IgG4関連疾患 実 践的臨床から病因 へ -IgG4研究会 モノグラフ	前田書店	金沢	89-95	2015
水島伊知郎、山田和 徳、川野充弘	APRILとIgG4関連疾患	川茂幸、川野充弘	IgG4関連疾患 実 践的臨床から病因 へ -IgG4研究会 モノグラフ	前田書店	金沢	186- 190	2015
山田和徳、塚正彦、川 野充弘	IgG4関連疾患のモデル動物	川茂幸、川野充弘	IgG4関連疾患 実 践的臨床から病因 へ -IgG4研究会 モノグラフ	前田書店	金沢	198- 202	2015
川野充弘	Ⅱ. 臓器別病変の診断と治 療 8. 腎病変・泌尿器病 変 診断	岡崎和一、川茂幸	臨床医必読 最新 IgG4関連疾患	診断と治療社	東京	117- 120	2015
川野充弘	Ⅲ. IgG4関連疾患の鑑別 2. リウマチ・膠原病関連、 リンパ節疾患	岡崎和一、川茂幸	臨床医必読 最新 IgG4関連疾患	診断と治療社	東京	162- 166	2015
後藤 浩	眼病変 検査・診断	岡崎和一 川 茂 幸	臨床医必読 最新 IgG4関連疾患	診断と治療社	東京	47-49	2015
松井祥子	呼吸器病変：治療と予後	岡崎和一、 川 茂幸	最新IgG4関連疾患	診断と治療社	東京	78-79	2015

## 研究成果の刊行に関する一覧表（論文）

執筆者氏名	論文題名	雑誌名	巻(号)	ページ	発行年
Khosroshahi A, Wallace ZS, Crowe JL, <u>Akamizu T</u> , Azumi A, Carruthers MN, Chari ST, Della-Torre E, Frulloni L, Goto H, Hart PA, <u>Kamisawa T</u> , <u>Kawa S</u> , <u>Kawano M</u> , Kim MH, Kodama Y, Kubota K, Lerch MM, L öhr M, Masaki Y, Matsui S, <u>Mimori T</u> , Nakamura S, Nakazawa T, Ohara H, Okazaki K, Ryu JH, Saeki T, Schleinitz N, Shimatsu A, Shimosegawa T, Takahashi H, Takahira M, Tanaka A, Topazian M, Umehara H, Webster GJ, Witzig TE, Yamamoto M, Zhang W, <u>Chiba T</u> , Stone JH; Second International Symposium on IgG4-Related Disease	International Consensus Guidance Statement on the Management and Treatment of IgG4-Related Disease	Arthritis Rheumatol	67 (7)	1688-1699	2015
Arai Y, Yamashita K, Kuriyama K, Shiokawa M, <u>Kodama Y</u> , Sakurai T, Mizugishi K, Uchida K, Kadowaki N, Takaori-Kondo A, Kudo M, Okazaki K, Strober W, <u>Chiba T</u> , Watanabe T	Plasmacytoid dendritic cell activation and IFN- $\alpha$ production are prominent features of murine autoimmune pancreatitis and human IgG4-related autoimmune pancreatitis.	J Immunol	195	3033-3044	2015
Watanabe T*, Sadakane Y, Yamaga N, Sakurai T, Ezoe H, Kudo M, <u>Chiba T</u> , Strober W	Nucleotide-binding oligomerization domain 1 acts in concert with the cholecystokinin receptor agonist, cerulein, to induce IL-33-dependent chronic pancreatitis.	Mucosal Immunol	in press		2016
Shiokawa M, <u>Kodama Y</u> , Kuriyama K, Yoshimura, Tomono T, Morita T, Kakiuchi N, Matsumori T, Mima A, Nishikawa Y, Ueda T, Tsuda M, Yamauchi Y, Minami R, Sakuma Y, Ota Y, Maruno T, Kurita A, Sawai Y, Tsuji Y, Uza N, Matsumura K, Watanabe T, Notohara K, Tsuruyama T, Seno H, <u>Chib T</u>	Pathogenicity of immunoglobulin G in patients with IgG4-related disease.	Gut	in press		2016
日本膵臓学会	自己免疫性膵炎診療ガイドライン2013	Mindsガイドラインオンライン			
<u>Okazaki K</u> , Uchida K.	Autoimmune Pancreatitis: The Past, Present, and Future.	Pancreas.	44	1006-16	2015



Fukuhara T, Tomiyama T, Yasuda K, Ueda Y, Ozaki Y, Son Y, Nomura S, Uchida K, <u>Okazaki K</u> , Kinashi T.	Hypermethylation of MST1 in IgG4-related autoimmune pancreatitis and rheumatoid arthritis.	Biochem Biophys Res Commun.	463(4)	968-74	2015
Mitsuyama T, Uchida K, Sumimoto K, Fukui Y, Ikeura T, Fukui T, Nishio A, Shikata N, Uemura Y, Satoi S, Mizuno N, <u>Notohara K</u> , <u>Shimosegawa T</u> , Zamboni G, Frulloni L, <u>Okazaki K</u> .	Comparison of neutrophil infiltration between type 1 and type 2 autoimmune pancreatitis.	Pancreatology	15(3)	271-80	2015
Kanno A, Masamune A, <u>Shimosegawa T</u> .	Endoscopic approaches for the diagnosis of autoimmune pancreatitis.	Dig Endosc	27	250-258	2015
Nakano E, Kanno A, Masamune A, Yoshida N, Hongo S, Miura S, Takikawa T, Hamada S, Kume K, Kikuta K, Hirota	IgG4-unrelated type 1 autoimmune pancreatitis.	World J Gastroenterol	21	9808-9816	2015
Kanno A, Masamune A, <u>Okazaki K</u> , <u>Kamisawa T</u> , <u>Kawa S</u> , Nishimori I, Tsuji I, <u>Shimosegawa T</u> ; Research Committee of	Nationwide epidemiological survey of autoimmune pancreatitis in Japan in 2011.	Pancreas	44	535-539	2015
Hamada S, Masamune A, Kanno A, <u>Shimosegawa T</u> .	Comprehensive Analysis of Serum microRNAs in Autoimmune Pancreatitis.	Digestion	91	263-271	2015
正宗 淳, 菅野 敦, <u>下瀬川 徹</u> .	【自己免疫性膵炎20年の軌跡】AIPの実態 わが国における実態 2011年全国疫学調査の結果を中心に	肝・胆・膵	70	185-192	2015
正宗 淳, 西野隆義, 多田稔, 全 陽.	【自己免疫性膵炎20年の軌跡】自己免疫性膵炎20年の軌跡	肝・胆・膵	70	307-319	2015
菅野 敦, 正宗 淳, <u>下瀬川 徹</u> .	【自己免疫性膵炎のup-to-date】自己免疫性膵炎の全国調査	膵臓	30	54-61	2015
菅野 敦, 正宗 淳, 吉田直樹, 本郷 星仁, 中野 絵里子, 三浦 晋, 濱田 晋, 菊田 和宏, 桑 潔, 廣田 衛久, <u>下瀬川 徹</u> .	若手に役立つ議論・オピニオンリーダーからのメッセージ 胆管狭窄をどのように診断するか? IgG4関連硬化性胆管炎の診断	肝臓クリニカルアップデート	1	215-222	2015
神澤輝実、来間佐和子、田畑拓久、千葉和朗、岩崎将、小泉理美、瀬戸口京吾	IgG4関連疾患の消化器病変	リウマチ科	53(5)	453-459	2015
Iwasaki S, <u>Kamisawa T</u> , Koizumi S, Chiba K, Tabata T, Kuruma S, Kuwata G, Fujiwara T, Koizumi K, Arakawa T, Momma K, Hara S, Igarashi Y	Characteristic findings of endoscopic retrograde cholangiopancreatography in autoimmune pancreatitis	Gut and Liver	9	113-117	2015
<u>Kamisawa T</u> , Zen Y, Pillai S, Stone JH	IgG4-related disease	Lancet	385	1460-1471	2015

Iwasaki S, <u>Kamisawa T</u> , Koizumi S, Chiba K, Tabata T, Kuruma S, Kishimoto Y, Igarashi Y	Assessment in steroid trial for IgG4-related sclerosing cholangitis	Advances in Medical Sciences	60	211-215	2015
Koizumi S, <u>Kamisawa T</u> , Kuruma S, Tabata T, Chiba K, Iwasaki S, Kuwata G, Fujiwara T, Fujiwara J, Arakawa T, Koizumi K, Momma K	Organ Correlation in IgG4-Related Diseases	J Korean Med Sci	30 (6)	743-748	2015
神澤輝実	自己免疫性膵炎と膵臓癌との鑑別診断のポイント	Medical Practice	32 (7)	1226	2015
神澤輝実、来間佐和子、田畑拓久、千葉和朗、小泉理美	オーバービュー：IgG4関連疾患の発見から現在まで	Modern Physician	35 (11)	1285-1289	2015
神澤輝実、千葉和朗、来間佐和子、中西泰一、古賀文隆	後腹膜線維症	別冊日本臨床免疫症候群（第2版）	34	578-581	2015
Mori E, <u>Kamisawa T</u> , Tabata T, Shibata S, Chiba K, Kuruma S, Kuwata G, Onishi T, Fujiwara T, Fujiwara J, Arakawa T, Momma K, Koizumi K, Matsumoto H, Horiguchi S	A case of IgG4-related mesenteritis	Clin J Gastroenterol	8	400-405	2015
神澤輝実、大原弘隆、Kim MH, 菅野 敦、岡崎和一、藤田直孝	自己免疫性膵炎とIgG4関連硬化性胆管炎の診断における内視鏡の役割	Gastroenterol Endosc	58 (1)	40-49	2016
<u>Kawa S</u> , <u>Okazaki K</u> , Notohara K, Watanabe M, Shimosegawa T; Study Group for Pancreatitis Complicated with Inflammatory Bowel Disease organized by The Research Committee for Intractable Pancreatic Disease (Chairman: Tooru Shimosegawa) and The Research Committee for Intractable Inflammatory Bowel Disease (Chairman: Mamoru Watanabe), both of which are supported by the Ministry of Health, Labour, and Welfare of Japan.	Autoimmune pancreatitis complicated with inflammatory bowel disease and comparative study of type 1 and type 2 autoimmune pancreatitis.	J Gastroenterol	50	805-15	2015
Maruyama M, Watanabe T, Kanai K, Oguchi T, Asano J, Ito T, Muraki T, Hamano H, Arakura N, Uehara T, <u>Kawa S</u> .	Extracorporeal shock wave lithotripsy treatment of pancreatic stones complicated with advanced stage autoimmune pancreatitis.	BMC Gastroenterol.	open access journal	Mar 10;15(1):28.	2015

Oguchi T, Ota M, Ito T, Hamano H, Arakura N, Katsuyama Y, Meguro A, <u>Kawa S.</u>	Investigation of susceptibility genes triggering lachrymal/salivary gland lesion complications in Japanese patients with type 1 autoimmune pancreatitis.	PLoS One.	open access journal	May 18;10(5)	2015
Asano J, Watanabe T, Oguchi T, Kanai K, Maruyama M, Ito T, Muraki T, Hamano H, Arakura N, Matsumoto A, <u>Kawa S.</u>	Association Between Immunoglobulin G4-related Disease and Malignancy within 12 Years after Diagnosis: An Analysis after Longterm Followup.	J Rheumatol.	42	2135-42	2015
新倉 則和, 丸山 真弘, 渡邊 貴之, 伊藤 哲也, 金井 圭太, 小口 貴也, 浅野 純平, 浜野 英明, <u>川 茂幸</u>	自己免疫性膵炎の長期予後	膵臓	30	94-100	2015
Shimizu M, Okamura K, Kise Y, Takeshita Y, Furuhashi H, Weerawanich W, Moriyama M, Ohyama Y, Furukawa S, <u>Nakamura S.</u> , Yoshiura K.	Effectiveness of imaging modalities for screening IgG4-related dacryoadenitis and sialadenitis (Mikulicz's disease) and for differentiating it from Sjögren's syndrome (SS), with an emphasis on sonography.	Arthritis Res Ther	17	223	2015
Hayashi Y, Moriyama M, M Takashi, Goto Y, Kawano S, Ohta M, Tanaka A, Furukawa S, Hayashida JN, Kiyoshima T, Shimizu M, Chikui T, <u>Nakamura S.</u>	A case of mantle cell lymphoma presenting as IgG4-related dacryoadenitis and sialoadenitis, so-called Mikulicz's disease.	World J Surg Oncol	13	225	2015
Ohta M, Moriyama M, Goto Y, Kawano S, Tanaka A, Maehara T, Furukawa S, J Hayashida JN, Kiyoshima T, Shimizu M, Arinobu Y, <u>Nakamura S.</u>	A case of marginal zone B cell lymphoma mimicking IgG4-related dacryoadenitis and sialoadenitis.	World J Surg Oncol	13	67	2015
Nakatsuka Y, Handa T, Nakamoto Y, Nobashi T, Yoshihiji H, Tanizawa K, Ikezoe K, Sokai A, Kubo T, Hirai T, Chin K, Togashi K, <u>Mimori T.</u> , <u>Mishima M.</u>	Total lesion glycolysis as an IgG4-related disease activity marker.	Mod Rheumatol	25(4)	579-584	2015
松井 祥子, 山本 洋, 源誠二郎, 早稲田優子, 三嶋理晃, 久保 恵嗣	第54回日本呼吸器学会学術講演会 シンポジウム報告IgG4関連呼吸器疾患の診断基準	日呼吸誌	4(1)	129-132	2015
Kawano H, Ishii A, Kimura T, Takahashi T, Hironaka H, Kawano M, Yamaguchi M, Oishi K, Kubo M, <u>Matsui S.</u> , <u>Notohara K.</u> , Ikeda E	IgG4-related disease manifesting the gastric wall thickening	Pathol Int	66(1)	23-8	2016

<u>Notohara K</u> , <u>Nishimori I</u> , <u>Mizuno N</u> , <u>Okazaki K</u> , Ito T, <u>Kawa S</u> , Egawa S, Kihara Y, Kanno A, Masamune A, <u>Shimosegawa T</u>	Clinicopathological Features of Type 2 Autoimmune Pancreatitis in Japan: Results of a Multicenter Survey	Pancreas	44(7)	1072-7	2015
Miyabe K, <u>Notohara K</u> , <u>Nakazawa T</u> , Hayashi K, Naitoh I, Shimizu S, Kondo H, Yoshida M, Yamashita H, Umemura S, Hori Y, Kato A, Takahashi S, <u>Ohara H</u> , Joh T	Comparison study of immunohistochemical staining for the diagnosis of type 1 autoimmune pancreatitis	J Gastroenterol	50(4)	455-66	2015
<u>能登原憲司</u>	IgG4関連疾患の病理	Modern Physician	35(11)	1301-5	2015
Kimura Y, Kikuyama M, <u>Kodama Y</u>	Acute Pancreatitis as a Possible Indicator of Pancreatic Cancer: The Importance of Mass Detection.	Intern Med.	54(17)	2109-2114	2015
Kiyama K, Yoshifuji H, Kandou T, Hosono Y, Kitagori K, Nakashima R, Imura Y, Yukawa N, Ohmura K, Fujii T, Kawabata D, <u>Mimori T</u>	Screening for IgG4-type anti-nuclear antibodies in IgG4-related disease.	BMC Musculoskeletal Dis.	16(1)	129	2015
Takahashi H, Tsuboi H, Ogishima H, Yokosawa M, Takahashi H, Yagishita M, Abe S, Hagiwara S, Asashima H, Umeda N, Kondo Y, Suzuki T, Matsumoto I, <u>Sumida T.</u>	[18F]fluorodeoxyglucose positron emission tomography/computed tomography can reveal subclinical prostatitis in a patient with IgG4-related disease.	Rheumatology (Oxford)	54(6)	1113	2015
Furukawa S, Moriyama M, Tanaka A, Maehara T, Tsuboi H, Iizuka M, Hayashida J, Ohta M, Saeki T, Notohara K, <u>Sumida T</u> , Nakamura S.	Preferential M2 macrophages contribute to fibrosis in IgG4-related dacryoadenitis and sialoadenitis, so-called Mikulicz's disease.	Clin Immunol	156(1)	9-18	2015
Ebe H, Tsuboi H, Hagiya C, Takahashi H, Yokosawa M, Hagiwara S, Hirota T, Kurashima Y, Takai C, Miki H, Asashima H, Umeda N, Kondo Y, Ogishima H, Suzuki T, Chino Y, Matsumoto I, <u>Sumida T.</u>	Clinical features of patients with IgG4-related disease complicated with perivascular lesions.	Mod Rheumatol	25(1)	105-9	2015
Ohno K, <u>Sato Y</u> , Ohshima K, Takata K, Miyata-Takata T, Takeuchi M, Gion Y, Tachibana T, Orita Y, Ito T, Swerdlow SH, <u>Yoshino T.</u>	A subset of ocular adnexal marginal zone lymphomas may arise in association with IgG4-related disease.	Scientific Reports	5	13539	2015

Takeuchi M, Ohno K, Takata K, Gion Y, Tachibana T, Orita Y, Yoshino T, Sato Y.	Interleukin 13-positive mast cells are increased in immunoglobulin G4-related sialadenitis.	Scientific Reports	5	7696	2015
Takekuma K, Inaba H, Ariyasu H, Furukawa Y, Doi A, Nishi M, Hirokawa M, Yoshida A, Imai R, Akamizu T	Clinicopathological features of Riedel's thyroiditis associated with IgG4-related disease in Japan.	Endocr J	62(8)	725-31	2015
Takekuma K, Ariyasu H, Inaba H, Inagaki Y, Yamaoka H, Furukawa Y, Doi A, Furuta H, Nishi M, Akamizu T	Distribution of serum immunoglobulin G4 levels in Hashimoto's thyroiditis and clinical features of Hashimoto's thyroiditis with elevated serum immunoglobulin G4 levels	Endocr J	62(8)	711-7	2015
赤水尚史	IgG4関連疾患における最近の進歩「内分泌領域におけるIgG4関連疾患」	日本内科学会雑誌	104(9)	1844-1847	2015
Nakajima A, Masaki Y, Nakamura T, Kawanami T, Ishigaki Y, Takegami T, Kawano M, Yamada K, Tsukamoto N, Matsui S, Saeki T, Okazaki K, Kamisawa T, Miyashita T, Yakushijin Y, Fujikawa K, Yamamoto M, Hamano H, Origuchi T, Hirata S, Tsuboi H, Sumida T, Morimoto H, Sato T, Iwao H, Miki M, Sakai T, Fujita Y, Tanaka M, Fukushima T, Okazaki T, Umehara H.	Decreased Expression of Innate Immunity-Related Genes in Peripheral Blood Mononuclear Cells from Patients with IgG4-Related Disease.	PLoS One.	10(5)	e0126582.	2015
Mori K, Yamada K, Konno T, Inoue D, Uno Y, Watanabe M, Okuda M, Oe K, Kawano M, Yamagishi M.	Pericardial Involvement in IgG4-re	Intern Med.	54(10)	1231-5.	2015
Buelli S, Perico L, Galbusera M, Abbate M, Morigi M, Novelli R, Gagliardini E, Tentori C, Rottoli D, Sabadini E, Saito T, Kawano M, Saeki T, Zoja C, Remuzzi G, Benigni A.	Mitochondrial-dependent Autoimmunity in Membranous Nephropathy of IgG4-related Disease.	EBioMedicine.	2(5)	456-66.	2015
Saeki T, Kawano M, Mizushima I, Yamamoto M, Wada Y, Ubara Y, Nakashima H, Ito T, Yamazaki H, Narita I, Saito T.	Recovery of renal function after glucocorticoid therapy for IgG4-related kidney disease with renal dysfunction.	Clin Exp Nephrol.	[Epub ahead of print]		2015

Inoue K, Okubo T, Kato T, Shimamura K, Sugita T, Kubota M, Kanaya K, Yamachika D, Sato M, Inoue D, Harada K, <u>Kawano M.</u>	IgG4-related stomach muscle lesion with a renal pseudotumor and multiple renal rim-like lesions: A rare manifestation of IgG4-related disease.	Mod Rheumatol	[Epub ahead of print]		2015
Zoshima T, Yamada K, Hara S, Mizushima I, Yamagishi M, Harada K, Sato Y, <u>Kawano M.</u>	Multicentric Castleman Disease With Tubulointerstitial Nephritis Mimicking IgG4-related Disease: Two Case Reports.	Am J Surg Pathol.	[Epub ahead of print]		2015
Yamamoto M, Yajima H, <u>Takahashi H.</u> , Yokoyama Y, Ishigami I K, Shimizu Y, Tabeya T, Suzuki C, Naishiro Y, Takano K, Yamashita K, Hashimoto M, Keira Y, Honda S, Abe T, Suzuki Y, Mukai M, Himi T, Hasegawa T, Imai K, Shinomura Y.	Everyday clinical practice in IgG4-related dacryoadenitis and/or sialadenitis: results from the SMART database.	Mod Rheumatol	25 (2)	199-204	2015
Yamamoto M, Awakawa T, <u>Takahashi H.</u>	Is rituximab effective for IgG4-related disease in the long term? Experience of cases treated with rituximab for 4 years.	Ann Rheum Dis	74 (8)	e46	2015
Yamamoto M, Shimizu Y, Yajima H, Tabeya T, Suzuki C, Naishiro Y, Takano K, Murakami R, Honda S, Abe T, Himi T, Mukai M, <u>Takahashi H.</u>	Validation of the comprehensive diagnostic criteria for IgG4-related disease in a SMART registry.	Mod Rheumatol	E-pub		2015
Shimizu Y, Yamamoto M, Yajima H, Suzuki C, Naishiro Y, <u>Takahashi H.</u> , Imai K, Shinomura Y.	Role of interleukin-32 in the mechanism of chronic inflammation in IgG4-related disease and as a predictive biomarker for drug-free remission.	Mod Rheumatol	E-pub		2015
Yajima H, Yamamoto M, Shimizu Y, Sakurai N, Suzuki C, Naishiro Y, Imai K, Shinomura Y, <u>Takahashi H.</u>	Loss of interleukin-21 leads to atrophic germinal centers in multicentric Castleman's disease.	Ann Haematol	E-pub		2015
<u>Goto H.</u> , Takahira M, Azumi A, Japanese Study Group for IgG4-Related Ophthalmic Disease	Diagnostic criteria for IgG4-related ophthalmic disease.	Jpn J Ophthalmol.	59	1-7	2015
Takahashi H, Usui Y, Ueda S, Yamakawa N, Sato-Otsubo A, Sato Y, Ogawa S, <u>Goto H</u>	Genome-Wide Analysis of Ocular Adnexal Lymphoproliferative Disorders Using High-Resolution Single Nucleotide Polymorphism Array.	Invest Ophthalmol Vis Sci.	56	4156-4165	2015
Haradome K, Haradome H, Usui Y, Ueda S, Kwee T.C, Saito K, Tokuyue K, Matsubayashi J, Nagao T, <u>Goto H</u>	Orbital lymphoproliferative disorders (OLPDs): Value of MR imaging for differentiating orbital lymphoma from benign OPLDs.	AJNR Am J Neuroradiol.	35	1976-1978	2014

後藤 浩	IgG4関連疾患とミクリッツ病	日本の眼科	86	598-599	2015
Matsui S, Yamamoto H, Minamoto S, Waseda Y, Mishima M, Kubo K.	Proposed diagnostic criteria for IgG4-related respiratory disease	Respiratory Investigation	DOI: <a href="http://dx.doi.org/10.1016/j.resin.2015.09.002">http://dx.doi.org/10.1016/j.resin.2015.09.002</a>		2015
松井祥子	IgG4関連呼吸器疾患	別冊日本臨床新 領域別症候群シ リーズ 免疫症 候群 (第2版)	34(別冊)	422-425	2015
松井祥子	IgG4関連疾患	日サ会誌	35	47-49	2015
久保惠嗣, 松井祥子, 山 本 洋	IgG4関連呼吸器疾患	日内会誌	104	1848-52	2015
松井祥子	IgG4関連呼吸器疾患	Modern Physician	35	1339-42	2015
松井祥子	IgG4関連疾患の病因・病態を考えるー IgG4関連呼吸器疾患から	先端医学社	9	13-16	2016

## V. 学会発表に関する一覧



## 学会発表に関する一覧表

発表者名	演題名	学会名	会場	発表年月日
渡邊智裕、千葉勉	腸内細菌により活性化されるNOD1が膵炎の発症に果たす役割	第23回日本消化器関連学会 週間・ワークショップ	東京	2015/10/8
辻 喜久、児玉裕三、千葉勉	早期壊死診断および入院時臓器不全に基づいた重症急性膵炎診断予測	第101回日本消化器病学会 総会・シンポジウム	仙台	2015/4/24
栗山勝利、塩川雅広、児玉裕三、千葉 勉	本邦におけるIgG4関連疾患の臨床的特徴	第112回日本内科学会講演会	京都	2015/4/11
Kanno A, Masamune A, Fujishima F, Iwashita T, Kodama Y, Maguchi H, Ohara H, Kitano M, Inoue H, Itoi T, Mizuno N, Miyagawa H, Mikata R, Irisawa A, Notohara K, Shimosegawa T.	Diagnosis of autoimmune pancreatitis by EUS-FNA using a 22-gauge needle: a prospective multicenter study	DDW	Washington D. C.	5月16-20日
菅野敦 正宗淳 下瀬川 徹	IgG4関連胆膵疾患における内視鏡の役割 22G針を用いたEUS-FNAによる自己免疫性膵炎の病理組織学的検討-多施設共同観察研究-	第89回日本消化器内視鏡学会総会	名古屋	5月29-31日
菅野敦 正宗淳 下瀬川 徹	自己免疫性膵炎治療の現状と課題 当科における自己免疫性膵炎の現状	第46回日本膵臓学会大会	名古屋	6月19-20日
Kanno A, Masamune A, Shimosegawa T.	The histological diagnosis of autoimmune pancreatitis by EUS-FNA	JDDW2015	東京	10月8-11日
神澤輝実、岡崎和一、川茂幸、清水京子、下瀬川 徹	自己免疫性膵炎の治療に関する国際調査	第46回日本膵臓学会大会	名古屋	2015年6月19日
Kamisawa T, Okazaki K	Recent progress in the treatment of IgG4-related pancreatitis -Experience from Japan-	JDDW2015	東京	2015年10月8日
Kawa S, Maruyama M, Arakura N.	International Session (symposium) 2: Recent progress in IgG4-related pancreatobiliary diseases. Prognosis and long-term outcomes of autoimmune pancreatitis.	JDDW2015	Tokyo, Grand Prince Hotel, New Takanawa.	October 8, 2015.
小口貴也、伊藤哲也、川茂幸.	「膵外胆管病変を有するIgG4関連硬化性胆管炎の検討」、パネルディスカッション12：PSCとIgG4-SC:わが国の現状と最適治療を目指して、	第101回日本消化器病学会総会	仙台	2015. 4. 25
伊藤哲也、丸山真弘、浅野順平、小口貴也、金井圭太、新倉則和、川茂幸.	「自己免疫性膵炎長期経過例における膵石灰化の要因」、パネルディスカッション1：自己免疫性膵炎治療の現状と課題	第46回日本膵臓学会大会	名古屋	2015. 6. 19

森山 雅文、太田 美穂、古川 祥子、三上 友理恵、山内 昌樹、石黒 乃理子、川野 真太郎、大山 順子、清島 保、中村 誠司	IgG4 関連疾患の診断における口唇腺生検の有用性	第60回 日本口腔外科学会学術集会・総会	名古屋国際会議場	2015. 10. 17
中村 誠司	IgG4関連疾患の病態形成に関わるT細胞サブセットとその活性化機構	第24回 日本シェーグレン症候群学会	京王プラザ	2015. 9. 18
森山 雅文、太田 美穂、古川 祥子、三上 友理恵、田中 昭彦、前原 隆、山内 昌樹、石黒 乃理子、林田 淳之将、川野 真太郎、大山 順子、清島 保、中村 誠司	IgG4 関連疾患の診断における口唇腺生検の有用性	第24回 日本シェーグレン症候群学会	京王プラザ	2015. 9. 19
森山 雅文、田中 昭彦、前原 隆、古川 祥子、太田 美穂、中村 誠司	IgG4関連疾患の唾液腺病変 ～病態形成に関わるTh細胞の活性化機構～	第25回 日本口腔内科学会・第28回 日本口腔診断学会 合同学術大会	大阪大学	2015. 9. 18
Matsui S, Yamamoto H, Handa T, Minamoto S, Waseda Y, <u>Mishima M</u> , Kubo K.	Proposal for diagnostic criteria for IgG4-related respiratory disease.	American Thoracic Society 2015 International Conference	Denver	2015 May 16-20
<u>Notohara K</u> , <u>Nakazawa T</u> , Uehara T, <u>Kawa S</u>	Type 1 Autoimmune Pancreatitis (AIP) Confined to the Pancreatic Duct System with Massive Lobular Effacement: A Type of AIP That Causes Pancreatic Atrophy after Steroid Treatment?	United States and Canadian Academy of Pathology	Seattle	2016年3月14日
<u>能登原憲司</u>	話題の疾患・自己免疫性膵炎：病理	第35回日本画像医学会	東京	2016年2月27日
<u>能登原憲司</u>	病理形態像から迫るIgG4関連疾患	第27回北陸病理集談会	金沢	2015年11月14日
<u>Notohara K</u>	Role of biopsy for the diagnosis of IgG4-SC and PSC	第51回日本胆道学会学術集会	宇都宮	2015年9月17日
<u>能登原憲司</u> 、 <u>内野かおり</u>	IgG4関連唾液腺炎の病理	第104回日本病理学会総会	名古屋	2015年5月1日
Tanaka A, Tazuma S, Takikawa H	Present status of IgG4-related sclerosing cholangitis in Japan -a nationwide survey-	International session (symposium) 2: Recent progress in IgG4-related pancreatobiliary diseases. 第57回日本消化器学会大会	東京	2015. 10. 8
岩崎 榮典、南一洋、上田 真裕、片山正、川崎 慎太郎、清野 隆史、松下 美紗子、堀部 昌靖、松崎 潤太郎、山岸 由幸、樋口 肇、鈴木 秀和、緒方 晴彦、金井 隆典	潰瘍性大腸炎に合併した自己免疫性膵炎3例の臨床的検討	JDDW2015	グランドプリンスホテル新高輪	2015年10月9日
洪 繁、岩崎 榮典、金井 隆典	自己免疫性膵炎治療の現状と課題 膵機能から見た自己免疫性膵炎に対するステロイド治療法	第46回日本膵臓学会	名古屋国際会議場	2015年6月19日
西田 賢司、佐藤 康晴、吉野 正	リンパ節におけるIgG4関連疾患	第104回日本病理学会総会シンポジウム	名古屋国際会議場	2015年4月30日～5月2日

佐藤康晴、吉野 正	IgG4関連疾患の病理	第104回日本病理学会総会 コンパニオンミーティング	名古屋国際会 議場	2015年4月30日～ 5月2日
竹内真衣、佐藤康晴、祇 園由佳、吉野 正	IgG4関連疾患の病態形成にお ける樹状細胞による抗原提示 の関与	第104回日本病理学会総会	名古屋国際会 議場	2015年4月30日～ 5月2日
荻野恭平、佐藤康晴、吉 野 正	多数のIgG4陽性細胞を伴った びまん性大細胞型B細胞リンパ 腫の1例	第104回日本病理学会総会	名古屋国際会 議場	2015年4月30日～ 5月2日
表 梨華、佐藤康晴、高田 尚良、吉野 正	IgG4関連疾患と鑑別が困難 だった上眼瞼腫瘤の1例	第104回日本病理学会総会	名古屋国際会 議場	2015年4月30日～ 5月2日
Akamizu T	IgG4 related disease in the Endocrine field.	Annual Autumn Meeting of Korean Endocrine Society	Lotte Hotel Busan, Korea	October 29-31, 2015
Takeshima K, Ariyasu H, Inaba H, Inagaki Y, Yamaoka H, Furukawa Y, Doi A, Furuta H, Nishi M, Akamizu T	Clinical Features of Hashimoto's Thyroiditis with Elevated Serum Immunoglobulin G4 Levels in Japan.	15th International Thyroid Congress and 85th Annual Meeting of the ATA	Walt Disney World Swan and Dolphin Resort (Lake Buena Vista, USA)	October 18-23, 2015
Ariyasu H, Takeshima K, Furukawa Y, Furuta H, Nishi M, Hirokawa M, Yoshida A, Imai R, Akamizu T	An Analysis of 10 Japanese Patients with Riedel's Thyroiditis Associated with IgG4-Related Disease.	15th International Thyroid Congress and 85th Annual Meeting of the ATA	Walt Disney World Swan and Dolphin Resort (Lake Buena Vista, USA)	October 18-23, 2015
南野寛人、稲葉秀文、河 井伸太郎、竹島 健、有 安宏之、古田浩人、西 理宏、井上 元、赤水尚 史	IgG4関連疾患と血管炎を伴う 橋本病のサイトカイン・ケモ カイン値	第25回臨床内分泌代謝 Update	東京国際 フォーラム	2015年11月27～ 28日
竹島 健、有安宏之、稲 葉秀文、山岡博之、古川 安志、太田敬之、西 理 宏、赤水尚史	甲状腺疾患とIgG4関連疾患の 関連性についての臨床病理組 織学的検討	第58回日本甲状腺学会学術 集会	福島県文化セ ンター（福島 市）	2015年11月5～7 日
杉本真衣美、河井伸太 郎、南野寛人、稲葉秀 文、有安宏之、古田浩 人、西 理宏、赤水尚 史、西川彰則、中西正典	橋本病の経過中に白血球破碎 血管炎を発症したIgG4関連疾 患の1例	第209回日本内科学会近畿 地方会	大阪国際交流 センター	15年9月12日土曜 日
竹島 健、宮田佳穂里、 山岡博之、瀬藤賀代、古 川安志、太田敬之、松谷 紀彦、石橋達也、稲葉秀 文、川嶋弘道、有安宏 之、古田浩人、西 理 宏、赤水尚史	IgG4関連疾患（IgG4-RD）にお けるステロイド治療と耐糖能 に関する検討	第58回日本糖尿病学会年次 学術集会	海峽メッセ下 関、他	2015年5月21～24 日
赤水尚史	内分泌領域におけるIgG4関連 疾患	第112回日本内科学会講演 会	みやこめっせ （京都市）	2015年4月10～12 日
Kazunori Yamada, Motohisa Yamamoto, Takako Saeki, Ichiro Mizushima, Shoko Matsui, Hiroki Takahashi, Mitsuhiro Kawano, Shigeyuki Kawa	Baseline clinical and laboratory features of IgG4-related disease: retrospective Japanese multicenter study of 333 cases	ACR/ARHP Annual Meeting San Francisco 2015	San Francisco, USA	Nov. 7-11, 2015

Shigeto Horita, Hiroshi Fujii, Yuhei Fujisawa, Satoshi Hara, Yasunori Suzuki, Kazunori Yamada, <u>Mitsuhiro Kawano</u>	A case of advanced IgG4-related tubulointerstitial nephritis complicating multiple lymphadenopathy and intrathracic nodule mimicking malignant lymphoma	American Society of Nephrology (ASN) Kidney Week 2015	San Diego, USA	Nov. 3-8, 2015
Ichiro Mizushima, Motohisa Yamamoto, Dai Inoue, Kazunori Yamada, Yoshifumi Ubara, Shoko Matsui, Hitoshi Nakashima, Shinichi Nishi, <u>Mitsuhiro Kawano</u>	Impact of pre-treatment renal insufficiency on renal cortical atrophy after corticosteroid therapy in IgG4-related kidney disease: a retrospective multicenter study	Annual European Congress of Rheumatology	Roma, Italy	Jun. 10-13, 2015
Kazunori Yamada, Motohisa Yamamoto, Takako Saeki, Ichiro Mizushima, Hiroki Takahashi, <u>Mitsuhiro Kawano</u> , Shigeyuki Kawa	Clinical and laboratory features of IgG4-related disease: retrospective Japanese multicenter study of 328 cases	Annual European Congress of Rheumatology	Roma, Italy	Jun. 10-13, 2015
<u>Mitsuhiro Kawano</u>	IgG4-related tubulointerstitial nephritis -an update	2nd International Renal Pathology Conference	Tsukuba	Mar. 7, 2015
Takeshi Zoshima, Satoshi Hara, Ichiro Mizushima, Kazunori Yamada, Masakazu Yamagishi, <u>Mitsuhiro Kawano</u>	Multicentric Castleman disease with tubulointerstitial nephritis mimicking IgG4-related kidney disease: Two case reports	2nd International Renal Pathology Conference	Tsukuba	Mar. 7, 2015
<u>Mitsuhiro Kawano</u>	Historical overview of IgG4-related disease	IgG4-related disease Asian ARVO 2015 meeting	Yokohama	Feb. 16, 2015
水島伊知郎、柘植俊介、山田和徳、蔵島乾、伊藤清亮、中島昭勝、 <u>川野充弘</u>	IgG4 関連疾患の臨床経過における新規臓器病変出現に関する検討	第59回日本リウマチ学会総会・学術集会	名古屋	2015. 4. 23-25
佐伯敬子、 <u>川野充弘</u> 、水島伊知郎、山本元久、乳原善文、中島衡、和田庸子、伊藤朋之、山崎肇、成田一衛、齊藤喬雄	腎機能低下に対しステロイド治療を行ったIgG4関連腎臓病の腎予後	第59回日本リウマチ学会総会・学術集会	名古屋	2015. 4. 23-25
佐伯敬子、 <u>川野充弘</u> 、水島伊知郎、乳原善文、中島衡、和田庸子、伊藤朋之、山崎肇、成田一衛、齊藤喬雄	IgG4関連腎臓病におけるステロイド治療後の腎機能の長期経過	第58回日本腎臓学会学術総会	名古屋	2015. 6. 5-7
蔵島 乾、原 怜史、堀田成人、額 裕海、伊藤清亮、曾津元彦、藤井博、山田和徳、 <u>川野充弘</u>	IgG4陽性形質細胞浸潤を伴う尿細管間質性腎炎を認めた多中心性キャスルマン病の3例	第58回日本腎臓学会学術総会	名古屋	2015. 6. 5-7
<u>川野充弘</u>	IgG4関連疾患の多彩な臨床ーリウマチ性疾患との鑑別ー	第25回日本小児リウマチ学会総会・学術集会	金沢	2015. 10. 10
<u>川野充弘</u>	教育講演：IgG4関連腎臓病 Update	第45回日本腎臓学会西部学術大会	金沢	2015. 10. 24
高比良雅之、濱岡祥子、 <u>川野充弘</u> 、山田和徳、杉山和久	緑内障との鑑別が困難であったIgG4関連眼視神経症の1症例	第24回日本シェーグレン症候群学会学術集会	東京	2015. 9. 18-19
水島伊知郎、 <u>川野充弘</u>	シンポジウムI-3: IgG4関連腎臓病の診断と治療（最新の話題）	第24回日本シェーグレン症候群学会学術集会	東京	2015. 9. 18-19